

令和 6年度 杉並区施策評価シート I

(00062)

施策	27	多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進
目標	08	文化を育み継承し、スポーツに親しむことのできるまち
施策担当課	文化・交流課	関係課 区民生活部管理課

施策目標	誰もが気軽に文化・芸術に親しめる環境が整い、多様な文化が育まれています。幅広い世代や異なる文化を持つ人々が積極的に交流することによって、お互いを尊重しあう、新たな価値観が創出され、多くの区民が多文化共生社会への理解を深めています。平和都市宣言を行った自治体として、戦争の悲慘さと平和の尊さを区民と共有するとともに、次世代を担う子どもたちの中に平和を希求する心が育まれています。
------	--

活動指標		成果指標	
指標名 (1)	日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の実施回数	指標名 (1)	過去1年間に1回以上、文化・芸術鑑賞をした区民の割合 (オンライン配信含む) 区民意向調査による【区民】
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名 (2)	文化芸術活動助成金事業件数	指標名 (2)	国際・国内交流事業参加者数 【区民】
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名 (3)	国際・国内交流事業数	指標名 (3)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名 (4)		指標名 (4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名 (5)	
		算式・指標説明	
		指標名 (6)	
		算式・指標説明	

区分		単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		目標値	目標年度
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績		
活動指標	活動指標 (1)	1 回	35	39	38	38	37		
	活動指標 (2)	2 件	76	50	50	25	23		
	活動指標 (3)	3 回	34	35	79	95	117		
	活動指標 (4)	4							
成果指標	成果指標 (1)	5 %	67.6	70.0	78.1	71.0	81.1	80.0%	令和12年度
	成果指標 (2)	6 人	1,861	4,000	2,449	4,500	4,992	6,000人	令和12年度
	成果指標 (3)	7							
	成果指標 (4)	8							
	成果指標 (5)	9							
	成果指標 (6)	10							
施策コスト	事業費	11 千円	1,301,714	1,356,314	1,330,466	1,367,604	1,340,245	特記事項	
	人件費	12 千円	129,334	139,846	150,212	127,005	121,715		
	総事業費 (11+12)	13 千円	1,431,048	1,496,160	1,480,678	1,494,609	1,461,960		
	国・都からの補助金等	14 千円	16,309	12,000	34,045	0	0		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15 %			3.5	0.1	1.3		
	人件費比率 (12÷13)	16 %	9.0	9.3	10.1	8.5	8.3		

課題・分析	<p>文化・芸術分野では、文化芸術活動助成事業や日本フィル友好提携事業等を通じて文化・芸術鑑賞の機会を創出したこと、区民の鑑賞割合が増加しました。一方で、区民が文化・芸術を発表する場を求める声があるため区民ギャラリーやスギナミ・ウェブ・ミュージアムの活用等の検討が必要です。</p> <p>交流分野は、平時から交流自治体と文化・スポーツ等を通じた交流をすることが、有事の際の的確な連携にもつながると分析しています。また、外国人人口が年々増加している状況を踏まえ、多文化共生専門部門を設置し、外国人支援事業等を通して、誰もがいきいきと暮らし地域社会が活性化できるよう取り組むことが求められています。</p> <p>平和分野では、戦後80年近くが経過し、戦争体験者が減少する中、どのように戦争体験や被爆の体験を語り継いでいくかが課題となっています。併せて、次世代の平和を希求する心を育む取り組みも進めていく必要があります。</p>				
施策の成果	<p>文化・芸術の振興では、区立小中学校への出張音楽教室等の日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業を計37回実施し、9,467人が参加しました。また、区民・区内団体が行う音楽や演劇公演等23件を支援し、区民の文化活動を支援するとともに、気軽に文化・芸術に親しむ機会を創出しました。</p> <p>国内外交流では、交流自治体の観光物産展を43回、写真展を9回実施したほか、4年ぶりに東京高円寺阿波おどり台湾公演を開催するなど計画を上回る事業を実施し、事業参加者数は4,992人(令和4年度比2,543人増)となりました。また、外国人支援では、杉並区交流会等と連携し、外国人等の児童・生徒を対象とした「子ども日本語教室」(小学生28人・中学生16人)や外国人相談(548件)等の事業を実施し、事業参加者数は1,030人(令和4年度比265人増)となりました。</p> <p>平和事業の推進では、平和のつどいにおいて、被爆を題材にした漫画「あの日、ヒロシマで」のイラストや写真資料の展示などに取り組み、約1,800人の参加者がありました。また、ポスターコンクールには28校・676人が応募したほか、広島平和学習中学生派遣事業は参加者29名が広島での記念式典の参加や各種の学習活動を行い、平和への想いを強くすることにつながりました。</p>				
<div data-bbox="84 857 108 1160" data-label="Text">改善・見直しの方向 中長期</div>	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="116 824 379 857">今後の施策の方向性</th><th data-bbox="379 824 1557 857">拡充</th></tr> <tr> <th data-bbox="116 1014 379 1048">今後の進め方</th><td data-bbox="379 857 1557 1218"> <p>文化・芸術の振興については、区民がより身近に文化・芸術に親しめるよう、日本フィルとの友好提携事業をはじめ、杉並芸術会館及びPFI杉並公会堂での公演の実施、文化芸術活動の支援等に取り組んでいきます。</p> <p>国内外交流については、交流自治体等と連携・協力して、住民同士が交流できる事業を展開し、顔の見える関係を構築していきます。また、多文化共生については、杉並区多文化共生基本方針に基づき、在住外国人支援事業や多文化キッズサロン事業を推進し、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めます。</p> <p>平和事業の推進については、平和のつどい、平和のためポスターコンクールなどの既定事業に引き続き取り組むとともに、4年に一度、広島・長崎で交互開催される平和首長会議総会が、令和7年度は長崎で予定されていることから、平和学習中学生派遣事業の派遣先は長崎とする予定です。</p> <p>また、来年は戦後80年を迎えることから、広島市と共催でヒロシマ原爆平和展を催すこととし、広島市から特別に資料を借り受け展示するほか、広島在住の被爆者の講演会をするなど、節目の年にふさわしい事業を検討します。このほか、被爆者の高齢化により語り継ぎが難しくなっているため、今年度から撮影に入っている被爆者証言記録映像を完成させ、記念事業などに合わせて公開します。</p> </td></tr> </table>	今後の施策の方向性	拡充	今後の進め方	<p>文化・芸術の振興については、区民がより身近に文化・芸術に親しめるよう、日本フィルとの友好提携事業をはじめ、杉並芸術会館及びPFI杉並公会堂での公演の実施、文化芸術活動の支援等に取り組んでいきます。</p> <p>国内外交流については、交流自治体等と連携・協力して、住民同士が交流できる事業を展開し、顔の見える関係を構築していきます。また、多文化共生については、杉並区多文化共生基本方針に基づき、在住外国人支援事業や多文化キッズサロン事業を推進し、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めます。</p> <p>平和事業の推進については、平和のつどい、平和のためポスターコンクールなどの既定事業に引き続き取り組むとともに、4年に一度、広島・長崎で交互開催される平和首長会議総会が、令和7年度は長崎で予定されていることから、平和学習中学生派遣事業の派遣先は長崎とする予定です。</p> <p>また、来年は戦後80年を迎えることから、広島市と共催でヒロシマ原爆平和展を催すこととし、広島市から特別に資料を借り受け展示するほか、広島在住の被爆者の講演会をするなど、節目の年にふさわしい事業を検討します。このほか、被爆者の高齢化により語り継ぎが難しくなっているため、今年度から撮影に入っている被爆者証言記録映像を完成させ、記念事業などに合わせて公開します。</p>
今後の施策の方向性	拡充				
今後の進め方	<p>文化・芸術の振興については、区民がより身近に文化・芸術に親しめるよう、日本フィルとの友好提携事業をはじめ、杉並芸術会館及びPFI杉並公会堂での公演の実施、文化芸術活動の支援等に取り組んでいきます。</p> <p>国内外交流については、交流自治体等と連携・協力して、住民同士が交流できる事業を展開し、顔の見える関係を構築していきます。また、多文化共生については、杉並区多文化共生基本方針に基づき、在住外国人支援事業や多文化キッズサロン事業を推進し、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めます。</p> <p>平和事業の推進については、平和のつどい、平和のためポスターコンクールなどの既定事業に引き続き取り組むとともに、4年に一度、広島・長崎で交互開催される平和首長会議総会が、令和7年度は長崎で予定されていることから、平和学習中学生派遣事業の派遣先は長崎とする予定です。</p> <p>また、来年は戦後80年を迎えることから、広島市と共催でヒロシマ原爆平和展を催すこととし、広島市から特別に資料を借り受け展示するほか、広島在住の被爆者の講演会をするなど、節目の年にふさわしい事業を検討します。このほか、被爆者の高齢化により語り継ぎが難しくなっているため、今年度から撮影に入っている被爆者証言記録映像を完成させ、記念事業などに合わせて公開します。</p>				

令和 6年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 27】【施策名称 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進】

金額の単位は千円

(00062)

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 5年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 058	すぎなみフェスタ			9,000	12,891	21,891	その他
2 062	平和事業の推進			7,054	18,332	25,386	現状維持
3 065	お試し移住支援			364	2,511	2,875	その他
4 066	地方創生の推進			1,181	6,362	7,543	その他
5 068	文化・芸術の振興			51,592	31,595	83,187	現状維持
6 069	国際・国内交流の推進			20,396	22,148	42,544	推進（拡充）
7 070	杉並区交流協会助成			49,603	4,186	53,789	現状維持
8 073	杉並芸術会館の維持管理			349,169	19,337	368,506	現状維持
9 075	杉並公会堂（ P F I 事業 ）			851,886	4,353	856,239	現状維持
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				1,340,245	121,715	1,461,960	

施策を構成する
事務事業に関する特記事項

すぎなみフェスタは、令和5年度に地域課へ事務を移管しました。
令和6年度に国際・国内交流の推進は、お試し移住支援及び地方創生の推進事業を統合し、多文化共生事業を加えて、多文化共生・国内外交流の推進に名称を変更しました。